

星 星 星 星 星

1930年

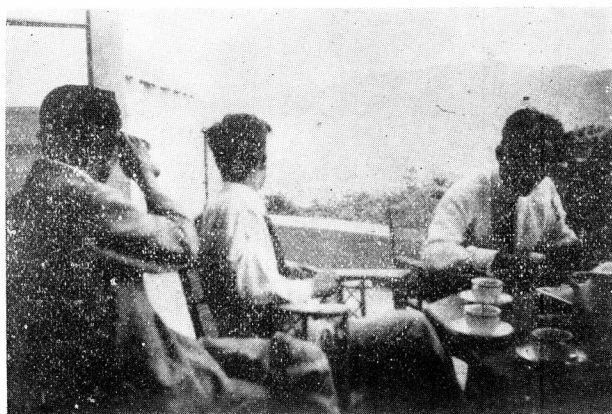
(第 2 號)

2 月

「カノープス」星の憧れ

嚴冬の二月は天空が御祭り氣分に賑はう時である。ことに、今年は、雄將ジュピターが天頂を飾つて、其の光りは、恒星界の美を壓してゐる。

南天には、此の頃、我等の憧れの「カノープス星」が見える。此の星は北緯三十六度以南ならば、世界中のごこからでも見える筈だが、但し南の地平線に、山や、樹や、建物があつては駄目。従つて多くのモダン市街からは見える望みがない。——京都の市内からも、今から十年前まではよく見えたものであるが、其の後は全く見えなくなつた。しかし、花山天文臺からは流石に美しく之れが見える。本館の露臺から南を向くと、近くは太陽館の上、遠くは宇治、木津、奈良、吉野山あたりの空に、案外にも一等級の輝やき其のまゝで可なり永く見える。「カノープス」!「壽老人星」!



花山天文臺の御茶の露臺から